

2020年12月28日

当院で経胸壁心エコー図検査を受けられた患者さん・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2019年4月～2030年3月の間に、経胸壁心エコー図検査を受けたまたはこれから受けられる方

【研究課題名】最新心エコーソフトウェアを用いた心機能解析の有用性に関する観察研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 心不全科 医師 天野 雅史

【研究の目的】心エコー図検査は心疾患におけるスクリーニング検査並びにフォローアップ検査として広く普及しており、その簡便さから心臓病診療における中核となる検査です。一方、患者さん個々の状態や心エコー図検査の施行者による画質や検査精度がCTやMRI検査と比較するとばらつきが大きい側面があります。人工知能が導入されつつある現代において、画質・検査精度の統一は重要であります。さらに、今までは心エコー図検査を用いて心臓内の血流の変化・向きを可視化することは困難でしたが、最新のソフトウェア解析を用いることで可能であるところまで発展しています。心臓の左室・右室を3D画像構築が可能であるHeartModel並びに心腔内血流評価が可能であるVector Flow Mappingを用いて、日常臨床検査のなかで、さらなる心エコー図検査精度の向上を目指し、それらの解析結果と死亡・心不全発症といった予後との関連を調べるのが本研究の目的です。

【利用する診療情報】経胸壁心エコー図検査

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、生活歴、内服歴、心不全などの入院歴、心臓手術歴、死亡や他院入院の有無、身長、体重、肥満度、体表面積、血圧、脈拍、酸素濃度、心不全重症度・心機能分類、心電図、胸部単純写真・CT・MRI・心臓核医学検査画像、カテーテル検査情報、採血データ：血液一般検査、生化学検査：腎機能・肝機能・栄養・電解質・糖尿・脂質・心筋/筋性酵素、脳性利尿ペプチド(心不全マーカー)

【研究期間】研究許可日より2030年3月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたしません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 心不全科医師 天野 雅史
電話 06-6170-1070(代表)